

知床五湖地区における取組の進捗状況について

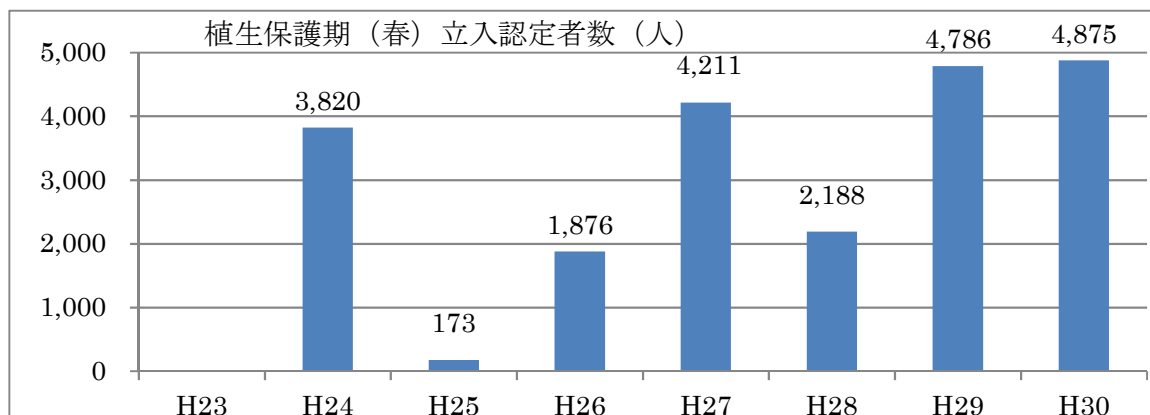
トピック

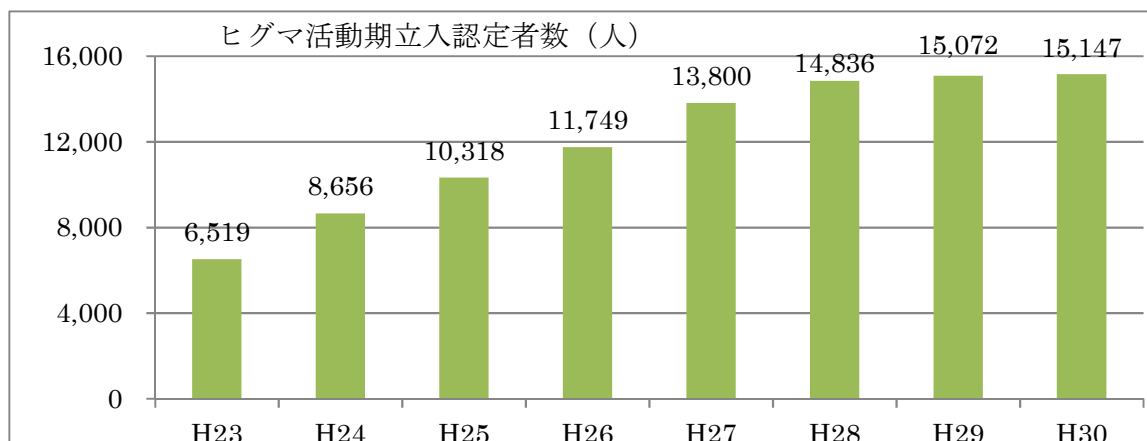
1. 地上遊歩道のより安全でわかりやすい利用、かつ、安定的な開放を実現するため、春期植生保護期および秋期自由利用期の運用改定を検討中。今年度も検証実験を実施。
2. 植生保護期（開園～5/9）における地上遊歩道の立入認定者数は 4,875 人。過去最高を記録。
3. ヒグマ活動期（5/10～7/31）における地上遊歩道の立入認定者数は 15,147 人。過去最高を記録。期間中のヒグマ遭遇回数は 119 回（うちツアー中止 25 回）（前年 30 回（うちツアー中止 14 回））であり、ツアー中止回数はヒグマ大量出没年であった H24 年（39 回）に続く過去 2 番目に多い結果となった。

1. 知床五湖利用調整地区制度の運用

- ・平成 30 年度は 4 月 20 日（開園日）から知床五湖利用調整地区制度を運用中。
- ・植生保護期（春）（開園～5/9）における立入認定者数は 4,875 人であった。
- ・大ループの開放は 5 月 2 日（前年 5 月 6 日）となった。
- ・ヒグマ活動期における地上遊歩道の立入認定者数は登録引率者を含め 15,147 人であり、同期における立入認定上限人数（33,781 人）の 45%で推移。
- ・期間中のヒグマ遭遇は 119 回（前年 30 回）で過去最高を記録した。ツアー中止回数は 25 回（前年 14 回）で前年より増加した。
- ・7 月末までの知床五湖駐車場の利用車両台数は、乗用車 26,102 台（前年同期比 100%）、バイク 1,358 台（前年同期比 96%）、マイクロバス 99 台（前年同期比 96%）、大型バス 1,782 台（前年同期比 98%）であった。

※上記の値は現時点での速報値であり、今後修正される可能性がある。





※現状のヒグマ活動期立入者数上限は 33,781 人（1日あたり 407 人×83 日）。

2. 知床五湖利用期区分の再検討について

- ・地上遊歩道のより安全でわかりやすい利用、かつ、安定的な開放を実現するため、春期の現行植生保護期をヒグマ活動期に、秋期の現行自由利用期を植生保護期に変更し、開園～7月をヒグマ活動期、8月～閉園を植生保護期とすることを検討し、平成 29 年度から検証実験を実施中。
- ・春期植生保護期において、ヒグマ活動期と同様のガイドツアーを想定した検証実験を実施した（ツアー参加者数：43 組 217 名）。ツアー参加/非参加者を対象としたアンケートや、引率者への聞き取り、積雪や踏み外し等を確認する定点調査を実施。
- ・秋期自由利用期についても植生保護期と同様の利用を想定した検証実験を予定。

3. 知床五湖の利用のあり方協議会、登録引率者審査部会の開催状況

●第38回知床五湖の利用のあり方協議会：平成30年3月8日

- ・知床五湖利用期区分の再検討、平成30年度の制度運用予定、地上遊歩道の再整備について共有された。
- ・平成29年度の指定認定機関収支報告及び審査部会会計報告を行った。

4. 知床五湖登録引率者に係る事項

- ・平成 30 年度は 35 名の引率者を登録（前年 35 名）。研修を実施中。
- ・平成 30 年 3 月 1 日～3 月 30 日まで平成 30 年度の新規養成者募集を行い、2 名が応募。養成研修を実施中。